

****+++++---* +****+++++---* +****+++++---* +****+++++---*

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年1月4日（金）

NO. 923号

本号3頁

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、国民は、国会で改憲派が3分の2でも改憲論議・改憲案の提示を許しませんでした。その力となったのが3000万に署名です。昨年、憲法会議は憲法パンフレットを17万5千冊、憲法ポスターを8000枚普及。3000万人署名の推進力となったと自負しています。

2019年も安倍改憲阻止に向けて、頑張りましょう。そして、統一地方選挙、参院選挙で勝利し、安倍内閣を退陣に追い込みましょう！憲法会議は皆様とともにたたかいます、

2019年 元旦
憲法改悪阻止各界連絡会議



金正恩氏「核兵器をつくりもしない、使いもしない」と、完全非核化「確固たる意志」を表明

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は1日、朝鮮中央テレビを通じて今年の施政方針に当たる「新年の辞」で、「朝鮮半島に恒久的な平和体制を構築し、完全な非核化に進もうとすることは、党と政府の不変の立場で、私の確固たる意志だ」と表明しました。さらに、「既にこれ以上、核兵器をつくりも実験もせず、使いも広めもしないと宣言してきた」とも述べました。まさに、完全な非核化の表明です。

そして、昨年6月のトランプ米大統領との史上初の米朝首脳会談の再会談について、「いつでも再び向き合う準備ができており、必ず国際社会が歓迎する結果を出すために努力する」と述べ、意欲を示しました。一方で、「米国が約束を守らず、一方的に何かを強要しようと制裁・圧迫に出れば、やむを得ず自主権と国家の最高利益を守るため、新しい道を模索せざるを得なくなるかもしれない」と交渉破綻の可能性を警告しました。しかし、「新しい道」について具体的には述べませんでした。



さらに、南北関係は「新しい段階に入った」と指摘。朝鮮戦争以降の休戦体制を平和体制に転換するための多国間交渉も積極的に推進し、恒久的な平和保障の土台を実質的に整えなければならない」と強調しました。

石破氏、志位氏、枝野氏の新年のあいさつ等

安倍首相は、1日の「平成31年年頭所感」で改憲については直接語ることはありませんでしたが、仕事始めの4日、どのように改憲への意欲を示すのか、注目されます。さて、石破氏や志位氏が年頭のあいさつ等で改憲について語っていますので、紹介します。

石破氏 参院選挙点巡り 改憲「優先順位高くない」と発言

自民党の石破茂元幹事長は1月1日、鳥取市で記者団の問いに、憲法改正を夏の参院選で争点化するかどうかについて「条文を付け足すだけで中身が変わらないのなら、優先順位が高いとはいえない」と答えました。

自民党は、戦力不保持を規定する9条2項を維持したまま自衛隊を明記する安倍首相案を党の案として取りまとめています。石破氏は2項を削除しなければ自衛隊を巡る違憲論争が決着しないと主張し、昨年秋の党総裁選でも論点になりました。

石破氏は記者団に「憲法は国民的な議論に至っていない」とも指摘し、首相自身が改憲の考え方について十分説明する必要があると強調しました。

志位氏 9条改悪を安倍政権とともに葬り去る「草の根のたたかい」の年に

日本共産党の志位委員長は、1日のしんぶん赤旗新春インタビューで、次のように語りました。

今年は、9条改悪の企てを、安倍政権もろとも葬り去るという年にしていきたいですね。そのために大切なことのひとつは、野党共闘を揺るがないものにすることです。野党各党は、憲法に対する態度はさまざまですが、「これだけ憲法をないがしろにする安倍政権のもとでの9条改憲は認められない」という点では一致しています。「安倍首相に憲法を語る資格なし」一憲法改定という土俵に上がる資格がないということをおい訴えて、結束して頑張りぬくことが第一です。

もう一つ、何よりも強調しておきたいのは、勝負は「草の根のたたかい」だということです。自民党の下村博文憲法改正推進本部長が昨年末、日本会議系の集会で、全国289の小選挙区支部で、日本会議と連携しながら、地域の憲法改正推進本部設置を進めるよう要請したというニュースが流れました。下村氏は「国民投票に向けて連絡会をつくりたい。202（支部）までめどが立った。まだ90弱残っているが、何とか年内に達成したい」と発言した。相手は国民投票の準備を始めているわけです。

私たちは、草の根で安倍改憲に反対する3000万人署名に取り組んでいますけれど、これを集め切って、圧倒的な世論をつくりあげ、相手が恐ろしくて改憲の発議などできないという力関係を草の根でつくりあげる。ここが何よりも重要です。

枝野氏 「立憲主義に基づくまっとうな民主主義を取り戻す」と

立憲民主党の枝野代表は「新年のあいさつ」で、憲法改正については触れていませんが、次のように述べています。

今年は春に統一地方選挙、夏に参議院選挙が行われます。草の根からの声をしっかりと政治に届けていく、一番身近な政治。その地方自治を担う、そんな議会に私たちと同じ思いを持った仲間を一人でも（多く）当選をさせる、そんな「ボトムアップの春」を実現し、そして今の強圧的で、そして国民の声を無視した政治を変えて立憲主義に基づくまっとうな民主主義を取り戻す、そんな「立憲の夏」を実現するため私たちも全力で頑張っています。

各地のとくくみ

大阪 3000万人署名163万(戦争法署名最終数)突破！

大阪憲法会議は12月21日、第2回幹事会をグリーン会館で、22名の参加で開催しました。山田憲司事務局長が、3000万人署名がこの1ヶ月も、とりわけ地域各地の奮闘により、目標としていた「2000万署名の最終到達数163万6110人」に迫る163万5571人に到達し、今年中に目標を達成する見通しを報告しました。

それを受けて、参加した幹事からは、次のような発言がありました。

- ・改憲が自己目的化している安倍と違って財界は改憲はあくまで手段。悪法強行で利害が得られたら、とことん安倍改憲につきあう気はないのでは。
- ・参院選で3分の2を死守したら一気にくる。それをさせない力が3000万人署名。改憲勢力を少数に追い込み、安倍政権、9条もろともに退陣させるため、議論を参院選に収斂させる。年始から行動の呼びかけを強めたい。

・立憲野党をどうまとめるかが課題だが、4のところの1の一本化というのでは消極的。立憲連合推薦の2人といった積極的な打ち出しも必要だと思う。

このような意見が出され、次の1月30日の代表者会議までに、攻勢的な運動で3000万人署名を府内にひろげていこうと確認し合いました。

宮城 「憲法9条を壊すな！泉区をつどい」のスタート集会に70人

9条改憲にあくなき執念を燃やす安倍首相に、仙台市泉区からノーの意思を示す「憲法9条を壊すな！泉区をつどい」のスタート集会が12月24日、泉中央市民センターで開かれ、70人が参加しました。

準備会を代表して横尾盛雄世話人は、安倍自民党政権が、今年の通常国会への改憲案提示をめざし、小選挙区ごとに改憲本部設置を画策していると述べ、「市民と野党の共闘を地域から強め、草の根のたたかいは重要になる」と訴えました。

草場裕之弁護士が、改憲をめぐる情勢を講演し、政府が北朝鮮や中国の脅威論を宣伝するなか、国防を自衛隊に期待する世論が少なからずあることも示し、丁寧な対話の重要性を強調。「市民と野党の共闘を、地域で可視化することが運動の弾みになる」と訴えました。

豊田次旦世話人が、実行委員会を結成して来年3月24日に泉区で、改憲阻止、国民主権・立憲主義擁護に賛同する団体や個人が党派を超えて結集する200～300人規模の集会を開くことを提案し、拍手で確認しました。

新潟 市民連合@新潟が1万人の声をもとに参院選政策をつくろうとアンケート

新潟県では1万人の市民の声をもとに参院選の政策をつくろうと、市民連合@新潟のメンバーらが24日、新潟市中心部のバンダイシティで若者ら200人とアンケートなどで対話しました。

寒空の下、メンバーらがサンタクロースの服装で、「あなたが征治に望むことを教えてください」と訴えると、若いカップルや親子連れ、高校生らが次々と足を止めて願いを書き、ボードに貼り付けました。

ある女子中学生は「平等」「平和がいい」と書き、別の女子中学生は「消費税値上げ反対」と書き、友人にも書かせていました。ある男子高校生は「国会で寝るな」と書きました。2時間ほどの対話で、ボードは「動物の殺処分やめて」「難病の新薬の開発を」「給料上げて」「宿題減らして」「年金増やして」などの市民の声でびっしりと埋まりました。

東京から来たという40代の男性は「寒い中で頑張っているのはすごい。東京でも頑張る」と話しました。

日本共産党の鈴木映市議候補、県議選に無所属で立候補する市民連合@新潟共同代表の磯貝潤子氏が駆けつけ、一緒に宣伝しました。

終了後、市民連合@新潟共同代表の佐々木寛氏は「多くの若い人が足を止めてくれた。1万人の声を集めて、しっかり政策にしていきたい」と話しました。

石川 「安倍政権は退陣せよ」と84回目の昼デモ

金沢市で26日、2018年最後の「怒りの昼デモ」がありました。「安倍暴走政治を許さない！」と安倍内閣の退陣を求め、石川憲法会議と「戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかす石川県共同センター」が隔週水曜日に取り組み、今回84回目です。

雨の中、いしかわ四高記念公園に約40人が集まり、市内の目抜き通りをパレードしました。

出発前のあいさつで、いしかわ県民教育文化センターの安原昭二所長は「安倍政権はウソとごまかし、隠ぺい、自己中心の政権」と批判。「安倍暴走政治を退陣に追い込むため共に頑張りましょう」と訴えると、「よーし」と合いの手が入りました。

デモは「平和憲法を守ろう！」「安倍政権は退陣せよ」とコールしました。通行人や観光客が立ち止まってデモに見入っていました。

